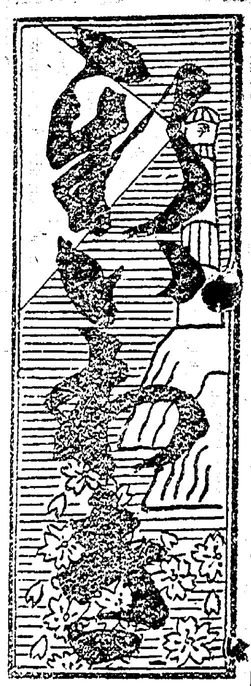

日但日曜祭日翌日休刊
一ヶ月二十五錢 郵稅一部二錢
廣告料 一行 四十錢
場所指定 式拾錢增
發行兼編輯印刷人 半谷政喜
發行所 磐城國平町大町二三 新いわき新聞社

櫻花の四月を彩る行事のかずぐ
來る十日の忠魂祭と記者團の觀櫻會をトップに

櫻花の四月……絹糸の樣な春雨が煙つてそれが晴れた昨日今日あたり高く澄んだ碧空から香氣を含んだ春陽が燦々と降り注いで…… 松ヶ岡新川畔の櫻蕾が今にも微笑み初めるかの樣に膨んで來た、春！ 春＝ 櫻花の四月だ

◇ ◇ ◇

綻び初める櫻花の四月に今年の行事を舉げて見ると先ずトップを切るのは明後十日の忠魂祭

今年は日露戰大捷の三十週年記念事業もあることゝて櫻花の四月トップを切る行事としては最もふさはしい此の催し郡內各方面からの人出は例年以上の賑かさを呈するだらう

次は同夜午後六時から恒例による在平記者倶樂部主催の觀櫻會が公園ときわの新築大廣間で開かれる、寶探し、福引その他の餘興もあり殊に郡內第一流の名士六十餘名を招待して櫻花に先駈ての催であり觀櫻會のトップを彩る豪華宴だ

◇ ◇ ◇

翌十一日は宛辱一年有餘、今こそ青天白日の身となつた平町の名物男、縣會議員、平町會議長井上茂作さんの雪寃會が青沼、野崎、萩原、闞內、橋諸、坂本の諸名士發起で開かれる、此の日あたりから松ヶ岡の夜を彩る雪洞、岐阜提灯の名物、廣告燈千余が見事に點燈されて櫻花の不夜城を現出する、越えて十四日には井上組頭以下總勢百五十八の組員が多年の努力酬はれて今ぞ手にした大表彰旗の披露式が伊藤知事以下縣下の名士六百余を迎えて催される、此の日あたりは櫻花も五分咲きの見頃だらうし、空前の賑ひを呈するだらうと豫想される、今春行事中の一大[illegible]祭だ・

◇ ◇ ◇

十七、八日は縣社子鍬倉神社の例大祭、十九日は平署管下四町十八ヶ村聯合の消防春季檢閱が開かれる、柴田署長新任最初の檢閱だけに此の賑ひも例年以上だらう……

松ヶ岡の廣告燈
十三日から點燈

松ヶ岡の夜を彩る平名物の廣告燈は平消防組の手で例年通り募集中であるが既に申込八百餘に達し締切までには千燈近く申込あるものと豫想され前年の點燈八百を超してゐるが大体十日頃から試驗點燈の上十三日夜あたりから點燈綻び初める松ヶ岡の櫻花に古典的情緒を添へて樂觀の不夜城を現出する筈である

常識講座

ローカルヒーローとは地方的な小さな勇者のこと此の意味で小ざかしい男の指語にも使はれる場合がある、然らば大きい英雄大立物はと云ふに其れはナショナルヒーローである

平驛昨年度の乘降 百七十六萬七千八
旅客の總收入廿六萬八千圓余 前年より二萬圓弱の增收

本縣下第一の旅客量を唱ひられる平驛九年度の乘降人員は百七十六萬七千六百四十七人で內乘車人員八十九萬三千二百四十七人この收入廿六萬八千五百九十八圓卅六錢に達し乘降人員に於て二萬六千七百五十四人料金では一萬九千七百九十六圓廿六錢を增加した同年度成績は各月共に黑字を呈してゐる中に獨り九月のみは三千九十四圓五十九錢を減收してゐるが其れを補ふて足る八月に三千二百四十三圓十四錢を增收してゐるので通計前記の收入增加を見た譯である尙ほ昨年度末の三月成績を上ぐれば

乘車四六九三二人（昨年同期より一六六〇增）降車四五五三〇人（昨年同期より一四三二增）收入[illegible]九二二一圓八八錢（昨年同期より一九・七圓六一錢增）

を示し二月に比較しては乘車で五千百四人降車で四千七百七人收入で三千百四十圓八十錢を增加してゐる此の成績は一般旅客が遠距離になつた以外に目立つて認められるものがなく地方人の活動範圍や遊覽範圍が其れだけ擴張されたものであらうと云はれてゐる

近づく山神祭に活氣付く常磐炭界
インフレ景氣が爆發 空前の賑はひ現出か？

常磐炭界數萬の勞働者やその家族連が鶴首して待ちあぐんでゐる年一回の大行事山神祭も十四、十五、十六の三日間例年通り催されるので磐城入山、古河の三大炭礦は勿論群少幾十の炭礦まで早くも此の準備に嬉しい忙しさを見せてゐる每年數千圓の豫算を計上する大炭礦はインフレ景氣の余勢も加はつて今年は素晴しい力瘤の入れかた、堅い財布の紐を緩めて思ひ切り盛大にやらうと言ふ意氣込み此れに伴れて群小各炭礦も磐城入山なんのその…と力め返つて準備中だから今年の山神祭は久しい間見られなかつた山景氣を爆發させるものと豫想される

柴田署長着任挨拶

六日着任した新平署長柴田鶴作氏は今八日午前十時から青沼平町長を始め關係各方面に新任の挨拶廻りをなした

平庶民金庫で特別貸付を實施
總額參萬圓一口參百圓以內

信用組合平庶民金庫では定例理事會に於て特別低利貸付總額三萬圓の貸し出しを決定次の如く發表した

▲貸付總額三萬圓▲申込資格は本年三月末日までに於て昭和八年八月下旬貸出しの特別年賦貸付金の定濟に至らざる組合員を除く▲一組合員の最高借入金は三百圓とし▲利率は年七分五厘▲その返濟方法は日掛貯金とし▲期間は二ヶ年以內

以上の要項により借入希望者は今八日から十三日までの間に組合事務所に出頭して申込書を提出することなほ保證人は三名以上（有擔保は此限りに非ず）此貸出し實施は理事會に於て申込組合員の審査決定後二十日後になる模樣である

鰹漁期迫る！
磐城丸の調査第一報で當業者一齊に出動準備

磐城各濱書入れの鰹漁期も間近に迫つたので水產試驗場の指導船磐城丸は早くも早期漁場たる小笠原島方面の漁場調査に出動中であるが七日同船よりの調査報告によれば同漁場方面は水溫潮流ともに頗る良好既に靜岡縣下各濱の當業者は續々同漁場に向けて出動中であり茲數日中には鰹漁が本格的に開始されるものとの觀測である前記潮流水溫等の第一報が豫想外の好績なので前年不漁に惱んで今期の鰹漁期に依然不安[illegible]してゐた地方當業者は此の吉報で一齊に活氣付き豊間、江名、小名、四倉の遠洋漁船は直ちに出動準備に着手第二報の到着次第急遽出動すべく各濱には活氣溢れてゐる

植田町の速成胡瓜
農林省から大量の注文

植田町農會では茂呂駐在技手指導の下に速成胡瓜の栽培中であつたが見事に結實したので過般東都市場に向けて試驗的に三函を出荷したところ本場茨城ものよりも遙かに好評で一函一圓二十錢で飛ぶやうに販けたので大喜びだが六日縣農會を經て農林省から同栽培地の速成胡瓜は成績良好だから大量出荷する樣斡旋されたいと思はない吉報が舞ひ込んだ

◉◉（映）（畵）（館）（ニ）（ュ）（ー）（ス）◉◉
世界館 十一日替り
◎下加茂大作『江戸は移る』
◎RKO特作『コングの復讐』
◎新興作品『熱風』…櫻花に競ふ豪華週間

實家に歸りたさから少女主家へ放火
つき詰めた乙女心に恐しい罪 平窪村の出火原因判明

六日午後二時半頃平窪村大字下平窪字從野田六六蠶種製造小屋から發火瞬く間に同一棟を全燒したが馳せつけた消防組の努力で間もなく鎭火した原因損害等に就て平署で取調を進めた結果放火の疑あるので關係者を召致嚴重取調てゐたが七日に至り右は同家の女中上遠野村大字深山田字仲の內七一馬次三女志賀マサ子（二〇）假名の放火と判明自皆したので渡部司法主任係りで現場檢證後一件書類と共に今八日放火犯として送檢した放火の原因は犯人まさ子は去二月二十日から同家に雇はれたが四五日前から胃腸を害し主家では充分に治療が出來ないので實家に歸りたさから主家が火事で燒ければ住む家がなく歸宅させて呉れるだらうとの淺果た少女の考へから[illegible]放火を決行したものである

拾遺歌中題詞の『さはこのみゆ』は現今の湯本（原名三箱）町に懸く
（飯坂溫泉元湯の鯖湖に強引、建碑せるは無稽、不當の極み）

鮫川刺史

〔25〕

文法上から少しく論ずると『別れし』（分の字を用るも粗ぼ同意）は過去の名詞であり「別るゝ」は現在の名詞であるから大いに趣を違つてをる。又「みゆの、みゆか」（以上に御湯なる漢字を當入しても同意）等の名詞は『みゆる』（見ゆるとするも同意）てふ詞はゞの、或る高い山の彼方に對する他動詞の謬りで、その本來から[illegible]辭ばであれば、其等の正誤ら意味を異にしてをるのに氣は固より雲泥の差隔があるわ附くであらう。けだ。而して該の詠者の心で

從來の郷土誌、又は歌人等に往々詠誦される前者の「わかれし」は『わかるゝ』で 又後者の「みゆか・みゆの」如き溫泉町の所在を指呼した辭ではなく、其の湯の里（郷、邑、村、驛、宿、町の何れとも）、即ちサハコてふ湯の人家が見える所は、題詠か實地の詠か不詳であれど、其の人の氣分で察するに、サハコなる湯の村に近い所、若しくはサハコ湯の街に居る戀人と訣別するのを惜んで、此れに其の近在の山を介在せしめて之を表はしたに外ならぬ。

農業

豆粕肥料

家畜の飼料に用えて後に施せ

豆粕は家畜の腹を通して後に施用したのがよい飼料としての價値もよく肥料としても頗る有利であると云ふことが盛岡高等農林學校の試驗結果によつて發見されたが同試驗成績の概要を上ぐれば明けて三才の馬四頭を試驗馬とされたもので粉末大豆粕を右試驗馬の飼料として與へたところ馬の發育にも素晴らしい好結果をもたらし經濟的にも有利なばかりでなく家畜に大豆粕を與へた厩肥は肥料としても他を凌駕してゐると云ふのである、試驗は右の四頭を二區に分けて一區は大豆を混じた馬糧で飼育し他の一區は大豆粕を混じた飼料で飼育した二區の平均体重增加割合の比較は左記の如く大豆粕を給與したものは素晴らしい增加率を示して健康增進したと云ふのである、

大豆區經過日數九日目一〇二、五　▲三十五日目一〇六三　▲七十日目一一三、四▲百七日目一一二、二　▲百十四日目一一二、三

大豆粕區經過日數九日目一〇五、五　▲三十五日目一一三、六　▲百七月目一一三、一　▲百十四日目一一四、五

備考（原体重を一〇〇としたるもの）

更にこれを厩肥と比較すると大豆粕を給與したものは窒素の分量が最も多く速性の肥料として好適であるその表上ぐれば

▲大豆粕を與へた厩肥窒素〇、七六　▲加里〇、三四　▲燐酸〇、三三。

ガソリン　モビール油
日本石油株式會社
特約販賣
油屋問屋　油内商店
電話長16　平城磐
支店　郡山市驛前通　電話長三二八
支店　茨城縣關本驛前　電話長平潟七三
油槽出張所　平町四丁目　郵便局前

正確なる　体温計　寒暖計（各種）　計量器指定販賣　平町五丁目角　山野邊藥局

内科、小兒科
大森醫院
醫學士　大森勇
平町南町　電二五八番
入院應需

洋服は　高島屋　平町二丁目　電話三八六
注文並に既製品
特製男女通學服！特價提供……
男子一年生用　紺サージ　三圓九〇錢より　綿サージ　一圓六十錢より　小倉同　一圓四五錢より
女子用　サージ　三圓三〇錢より　綿サージ　一圓六五錢より
男女防水マント　一圓三〇錢より　其他春物新荷豊富取揃

高島洋服店

好評噴々　大衆酵母劑　たる各種優秀藥
カクレー（三十三日分）定價一圓五十錢
強力驅蚤劑　スピロイン（定價二圓五圓十圓）
平町五丁目角　特約販賣店　山野邊藥局

學習院型ランドセル
サイゴー印學生帽
女學生用手提カバン
●玉付ノ石板ガ樂ニ入リマス…●九五錢ヨリ
●福助運動靴景品付賣出中
列陳内店品用學入
ニ備準オノ級進トノ學入
イ揃品用質セル味吟ニ入念
ヤルツ
〇四一電・四平

三十回生徒募集
非常時の女性に促す
婦人職業の近道に
産婆看護婦を御選み下さい
それには成績のよいと定評のある
平南町　産婆看護婦學校へ
▲申込み成るべく早く
▲新學期を開始は四月八日より
平産婆看護婦學校
校長　清野キヨ子（電話三〇七番）

（磐城共濟病院）福島縣平町電六四一
内科　院長　醫學博士　石山謙郎（電六四一番）
小兒科　部長　岩手醫學士　平賀一忠（電話三七〇番）
産婦人科　副院長　醫學博士　五十嵐雄二
外科耳鼻咽喉科　部長　醫學士　大町久藏（電話二七二番）
皮膚泌尿　部長　醫學士　前澤正
眼科花柳病科　醫學士　山謙郎
X光線科　醫學博士　石山彪
物療科　技術員　石後利雄
衛生試驗所獸醫　高本孝平
藥局　藥劑師　吉木寶雄
事務長　鈴木寶雄
（毎日午前八時より午後十時迄診療）
●…病室完備　…入院隨意　…●

鼻の諸病に　快鼻湯　有効保證
本劑は漢法醫の方劑で鼻病の爲め種々の外用藥並に内服藥を用ひ全治せざる方々及び手術後再發されし方々も本劑の服用により快癒された喜びの禮狀が各地から參つて居ります
効能　蓄膿症、慢性急性鼻加答兒、鼻汁多過症　頭重、肥厚性鼻炎、その他鼻骨灣曲症、並に中耳炎に神効の實證を受く
（快鼻湯）製劑販賣元　水野藥局　磐城平町一丁目【電話六九九番】　振替口座仙台【八八七六番】

謹告

拜啓陳者井上茂作氏客年來破産法事件ニ關シ審理中ノ處去月二十七日宮城控訴院ニ於テ無罪ノ判決ヲ受ケ爰ニ全ク晴天白日ノ身ト相成寔ニ慶賀ニ堪ヘザル次第ニ有之候就テハ君ノ爲メ左記ニヨリ雪寃慰安會致候間御賛成ヲ得度此段御通知申上候　敬具

記

一、日時　昭和十年四月十一日午後一時
一、會場　平町聚樂館
一、會費　金五拾錢

昭和十年四月六日　發起人　青沼鋒太郎　野崎滿藏　諸橋久太郎　萩原義雄　佐々木龍若　坂本隆藏　關内正一

申込所……平町二丁目　電話一六番　關内油店方

雨露に晒す程　強く太る煙突
煙突は　朝日煙突　耐震セメント製
絶對にはぜあいやけあいくさらないし　經濟的で美しくて丈夫です
金屋商店
一般印刷物も御引受致します
新いわき新聞社